

「夏休み企画！旧庁舎でクイズラリー」開催レポート

1. 開催概要

令和8年8月8日(土)午前10時～11時に、岡谷蚕糸博物館の「岡谷市制施行90周年記念展」の一環として、小学4年生～中学3年生と保護者を対象に、標記イベントを開催しました。

本イベントは、市制施行とともに建設された旧岡谷市役所庁舎(国登録有形文化財・近代化産業遺産群)をクイズラリー形式で見学し、次代を担う子どもたちにシルク岡谷の歴史を学び伝えることを目的としています。また、4月に開催した「ガイドツアー＆ミニコンサート」に続き、旧庁舎の保全・活用に向けた実証実験の第2弾として実施しました。



2. 参加者の声

アンケートには14名の方からご回答いただきました。全員が「満足」と回答し、所要時間についても全員が「ちょうど良い」と評価するなど、大変好評なイベントとなりました。

【良かった点】

●クイズ形式で楽しく学べる工夫

「様々な種類の問題があり、あきずに楽しめた」「クイズと説明でわかりやすかった」など、クイズを解きながら歩く形式が子どもたちの興味・関心を引き出し、楽しみながら歴史を学べる場となりました。

●職員による解説

「説明が子ども達にわかりやすく良かった」「すべての資料、そして説明がとても感動的でした」

など、職員の丁寧な解説が参加者から高く評価されました。年齢を問わず理解しやすい内容であったことが、全員満足という結果につながりました。

●普段入れない建物を見学できる貴重な機会

「普段見学できない場所を見れた」「歴史ある建物の内部を見学でき貴重な機会だった」など、旧庁舎という特別な空間での体験が参加者に強い印象を与えました。

●幅広い世代・地域からの参加

岡谷市内の参加者だけでなく、東京都・神奈川県からも参加があり、旧庁舎や岡谷の歴史への関心が市外にも広がっていることが確認できました。また、9歳から70歳まで幅広い年齢層が同じイベントを楽しめた点も成果といえます。

【課題点】

●暑さへの対策

「暑い!」「窓をもう少し開けてほしかった」といった声が複数寄せられました。旧庁舎は空調設備が十分でないため、夏季開催においては換気・冷却対策が必要です。

●申込方法の利便性向上

「申込はフォームでできた方が気軽に申し込めると思いました」という意見がありました。現在の電話申込に加え、オンライン申込フォームの導入を検討する必要があります。

●情報発信・周知の強化

「もっと宣伝した方が良い!」という声もありました。市内外の多くの方に参加いただいた一方で、まだ旧庁舎の存在や取組みを知らない方も多いと考えられます。SNSや広報紙など、より幅広い媒体での周知が求められます。

●建物の保全と活用のバランス

「ここを開放するイベントを増やすと建物がボロボロになりかねない」という、建物の保全を心配する声もありました。活用を進める一方で、文化財としての適切な保全との両立が重要な課題です。



5. 今後の取組み

今回のクイズラリーは、旧庁舎の保全・活用に向けた実証実験の第2弾として実施しました。参加者からは今後の活用に向けたさまざまなアイデアも寄せられており、今後の取組みの参考にしていきます。

【参加者から寄せられた活用アイデア】

- ・吹奏楽の演奏会・合唱・コンサート
- ・展示会・写真展
- ・小中学生の探究学習・職場体験
- ・岡谷の今と昔を比較できる年表展示

●トライアルイベントの継続実施

今回の成果と課題を踏まえ、季節や対象者を変えながら、引き続きイベントを企画・実施していきます。旧庁舎の魅力を多くの市民に知っていただけるよう、幅広い世代が楽しめる企画を検討します。

●子どもたちへの歴史教育の場としての活用

「小中学生の探究学習の材料にできないでしょうか」という声もあったように、学校と連携した見学会や教育プログラムとしての活用も視野に入れていきます。次代を担う子どもたちが岡谷の歴史を学び、まちへの誇りを育む場として旧庁舎を活かしていきます。

●旧庁舎の保全・活用に向けた検討の推進

実証実験で得られた知見や市民の皆さんからいただいたアイデアをもとに、旧庁舎の今後の保全・活用の方向性について、引き続き検討を進めていきます。岡谷市の大切な文化財を次の世代へ引き継いでいけるよう、丁寧に取り組んでいきます。

●情報発信の強化

旧庁舎の魅力や取り組み状況について、市公式ホームページ・SNS・広報紙などを通じて積極的に情報発信し、市民の関心と理解をさらに深めていきます。

